

令和5年度いるまドック 1次査定

No	事業名	担当課	自己評価	1次査定	査定の内容	2次査定の有無
1	いるまにあポケット制作事業	秘書課 未来共創推進室	要改善	廃止・凍結	・電子版やSNS等へのシフトを進めることにより、印刷物としての制作を段階的に縮減し、廃止することとする。	×
2	庁内印刷機関係事業	総務課	現行通り・拡充	要改善	・行政改革部門とともに、冊子等印刷に関する考え方を整理することで、全庁的なペーパーレスをさらに進めていく必要がある。 ・現有の印刷機について、全職員が簡易印刷機や複合機の特性を最大限に生かした効率的な使用方法を実践できるよう、更なる工夫をする必要がある。 ・ペーパーレスの推進により、複合機の各フロアへの設置の考え方について、設置所管課とともに検討していく必要がある。	×
3	庁内電話機関係事業	管財課	現行通り・拡充	要改善	・社会情勢の変化から、現在の設置方法については整理した上で、新庁舎建て替えに際しては、最適な方法となるよう、更なる研究を進めていく必要がある。	×
4	市民税賦課関係事業	市民税課	現行通り・拡充	要改善	・コンビニ交付の推進状況を注視し、RPA等の活用といったDXを進めることにより、職員の業務量縮減に向けた業務効率化を図って行く必要がある。	×
5	収税・収納業務関係事業	収税課	現行通り・拡充	要改善	・預貯金等照会電子化サービス、自動音声による電話催告業務を導入の可能性等のさまざまな視点からの検証により、職員の業務量縮減に向けた事務の効率化については更なる検討・研究を続けていく必要がある。	×
6	入間万燈まつり事業	地域振興課	現行通り・拡充	要改善	・万燈まつりに対する市民の期待の大きさはうかがえる。 ・本来、市民によるまつりであるべきであることから、職員のまつりへの関わり方や市民の更なるまつりへの参画に向けての検討を進める必要がある。 ・職員がボランティアとして参加する等の参加方法について検討する必要がある。	○
7	国際交流協会補助金事業	地域振興課	要改善	要改善	・設立の経緯から、協働の観点による協会の目的や一定の職員の関わりについては理解できる。 ・職員の協会事務への関りや度合については、「世界で活躍する”いるまっ子”の育成」のためにも、最適な関係性について検討する必要がある。	×
8	市民会館施設管理事業	地域振興課	要改善	廃止・凍結	・維持管理費の縮減に努めているものの、施設が存在する限りは最低限の維持管理費は発生する。 施設の除却に向けた検討を早急に進める必要がある。	×
9	女性のための相談事業	人権推進課	現行通り・拡充	要改善	・DV被害に限らず、女性への支援は必要である。 ・性によらない、個々の人権を尊重するための支援についても、並行して検討していく必要がある。	×
10	市営葬運営事業	市民課	廃止・凍結	廃止・凍結	・自己評価のとおり、当初の目的は達成していると考えられることから、縮小、廃止に向けた検討を進めていくこととする。	×
11	ごみ啓発物発行事業	総合クリーンセンター	現行通り・拡充	廃止・凍結	・電子版やアプリが充実していることから、全戸配布を前提とした事業の継続については慎重に検討する必要がある。 ・全戸配布をした上でも公共施設での配布分が足りなくなるほどである現状については、配布方法からゼロベースで見直さなければならない。	○
12	市民農園運営事業	農業振興課	現行通り・拡充	要改善	・目的については理解できるが、一部の市民の利益にとどまっていないか検証する必要がある。 ・民間による運営の可能性について、検討、研究する必要がある。 ・所有者の高齢化や農業従事者の担い手不足による遊休農地を、有効活用することができないか、検討する必要がある。	×
13	内職相談事業	商工観光課	現行通り・拡充	要改善	・例年一定の効果があげられていることについては評価することができる。 ・民間でも様々な求人業者等があり、どこの部分を行政で担うべきかについては整理し、すみわけに関する検討をする必要がある。	×
14	市営住宅管理事業	都市計画課	現行通り・拡充	現行通り・拡充	・業務最適化に関する取組について、評価することができる。 ・社会情勢の変化を勘案し、引き続き市営住宅数の把握と市営住宅の削減に努めることとする。 ・改修工事や修繕料の費用について、引き続き精査に努めることとする。	×
15	交通安全施設整備事業	道路管理課	現行通り・拡充	要改善	・目的に対する成果はあげられている。 ・破損場所発見の方法については、パトロールの方法について再検討したり、通報のチャンネルを増やしたりする等、改善の余地がある。	×

16	生活困窮者自立支援事業	生活支援課	現行通り・拡充	要改善	・自立支援事業が就労等に直結していることは、成果から見て評価できる。 ・任意事業についても必要性については理解できるが、学習支援事業については、こども支援課事業や教育委員会事業との連携等について改めて整理し、最適な手法について検討、研究する必要がある。	×
17	生活保護事業	生活支援課	現行通り・拡充	現行通り・拡充	・適正な保護の実施について評価できる。また、就労等廃止件数につながっていることについても高く評価できる。 ・事務事業の進め方の最適な方法について、引き続き検討していく必要がある。	×
18	障害者援護補助金交付事業	障害者支援課	現行通り・拡充	要改善	・近隣市の状況、また県の補助金の規模と市の負担及びその効果を総合的に考え、補助金の最適な額については検証を行う必要がある。	×
19	障害者手当給付事業	障害者支援課	現行通り・拡充	要改善	・額の見直しの対象者の生活に直結することは理解できるが、県の補助金額、近隣市の状況も踏まえながら、県補助金を超える部分についての適正性についてゼロベースで見直す必要がある。	○
20	市独自サービス代行申請等委託事業	高齢者支援課	現行通り・拡充	現行通り・拡充	・事業の方法、成果について、寝たきり介護者手当事業の運営に寄与していることは評価できる。 ・入間市独自の手法で支援体制を築いていることについては、その目的や成果について市内外にアピールしていく必要がある。	×
21	特定教育・保育施設等補助金事業	保育幼稚園課	現行通り・拡充	現行通り・拡充	・補助が市内保育施設の児童受入れ枠の確保につながっていることは認められる。 ・補助金については、協議の中で引き続き適正な金額を検討していく必要がある。	×
22	子ども・子育て支援事業	保育幼稚園課	現行通り・拡充	現行通り・拡充	・国・県補助金等の活用等により、より市の負担が少ない形で市民の利益に寄与している。	×
23	施設内テレビ設置事業	青少年課	要改善	要改善	・テレビの非常時の役割については一定の評価ができる。(当該施設以外においても、災害時対応を行う施設とそうでない施設等、テレビ設置の必要性については検討をしていく必要がある。) ・衛星放送である必要性については再検討し、契約方法等の見直しを早急に進める必要がある。	×
24	集団健診実施事業	健康管理課	要改善	要改善	・他医療機関のキャパシティの問題もあるが、健康福祉センターで集団健診を行うことで逆に医療機関での健診事業拡大の妨げになっていないか等、情勢を踏まえた検討をする必要がある。 ・集団健診にかかる費用について、引き続き歳出削減に取り組む必要がある。	○
25	乳幼児予防接種事業	地域保健課	現行通り・拡充	現行通り・拡充	・事務事業の進め方の最適な方法について、引き続き検討していく必要がある。	×
26	学校開放事業	スポーツ推進課	現行通り・拡充	要改善	・当該事業が生涯スポーツの実践の場確保に寄与していることについて評価ができる。一方、利用者については固定化が見られる。 ・実施方法や管理方法等については、旧来から変わらずに実施していることから、社会情勢の変化に合わせた最適な方法がないか検討・研究する必要がある。	×
27	会議録調整製本事業	議会事務局	現行通り・拡充	要改善	・議会会議の公開の観点から、事業自体の必要性については理解する。 ・市のAI会議録機器が充実し始めている中で、システムを導入することが最適かどうかについて、ゼロベースで見直す必要がある。 ・市のAI会議録機器については、データの蓄積によって学習し精度を上げていくものであり、都度検証を重ねる必要がある。	×
28	農業関係システム保守点検事業	農業委員会事務局	現行通り・拡充	要改善	・農業委員会事務局の事務を推進するためのシステム活用の必要性については理解する。 ・システムの統合、最適化については、課題克服の可能性について検討を引き続き行う必要がある。	×
29	文芸入間編集・発行事業	社会教育課	現行通り・拡充	要改善	・文芸活動の意識高揚と交流の場という視点では継続実施してきた歴史とそれによる一定の効果は認められる。 ・関わる市民の対象が限られてはいないか。効果を再検証するために、事業及び手法についてゼロベースで見直す必要がある。併せて職員の関わりについても検証する必要がある。	×
30	生涯学習をすすめる市民の会補助金	社会教育課	現行通り・拡充	要改善	・職員の関わりについて、ゼロベースで見直す必要がある。 ・社会情勢の変化に合わせた生涯学習のあり方について、再検証する必要がある。 ・参画する市民が、一部に限られてはいないか。	○

31	移動図書館やまばと号運営事業	図書館	現行通り・拡充	要改善	・やまばと号更新の時期や持続可能性、運転手の現状と得られている効果、代替サービスへの切り替えの可能性等を総合的に検討し、今後のあり方についてゼロベースで検討する必要がある。	○
----	----------------	-----	---------	-----	--	---